

令和3年(2021年)度事業報告書

自 令和3年4月 1日
至 令和4年3月 31日

I.事業

1.事業概要

令和4年度はコロナ禍が続く中、各事業理事を先頭に事業運営をしつつ、職員が協力し合い昨年並みの計画を達成する事ができた。

「介護支援事業」

コロナ感染予防に注意しながら業務体制を整え、感染対策や定期検査を実施することで利用者と職員の安心と安全に務める事が出来た。

「スマイル事業」

職員一人ひとりが利用者に向き合う姿勢を強化すべく担当利用者の体調管理の徹底を促したことにより体調不良の利用者について、各自が医療機関に連絡し指示を仰ぐことができた。また、入職予定であった特定技能外国人に欠員が出たため、既に日本在住の外国人を雇用しOJT、外部研修を活用し教育した。

「子ども預かり送迎支援事業」

昨年同様、新型コロナウイルス感染拡大の影響を大いに受けた。保育園や小学校および習いごとが休園になったり、子どもの感染が拡大し利用者にも陽性者が出るなどし、急なキャンセルが相次いだ。「養育支援事業」については、昨年度を大きく上回る利用があった。

「児童デイ事業」

日々の業務改善や新たな児童発達支援管理責任者による面談や家庭支援等で保護者との関係性が向上した。また一部の利用児童と職員が新型コロナウイルス感染症を発症したため、衛生管理を見直しスタッフ全員で感染防止に真剣に取り組んだ。

「サロン事業」「独自(子育て集団保育)事業」「サロン豆の木(ひとり親家庭支援)事業」

新型コロナウイルス感染による子どもへの感染が拡大したため、足立区の講習等は軒並み中止となり集団保育の件数は伸びなかった。また、同様の理由で子育てサロンに人数制限が設けられた。「サロン豆の木」のイベントは昨年よりも中止回数が増え、大きく売り上げに影響した。

- ・働きやすい職場環境整備の一環として就業規則の(母性健康管理の措置)を一部改訂し有給制度を導入した。
- ・非常勤職員の休憩時間について、就業規則と実務の不一致を職員の意見を取り入れながら是正した。
- ・「ZOOM」を利用しコロナ禍でもリモートで社内研修や職員交流会を行う事が出来た。

2.事業活動概要

事業名	事業内容	実施日時	実施場所	従事人数	受益対象者の範囲及び人員	売上実績(千円)
介護関連	ぷらちなくらぶ ・訪問介護	24時間毎日	利用者宅	24人	足立区内利用者 のべ215人	7,403
	スマイルぷらちな ・小規模多機能型居宅介護	24時間毎日	施設及び利用者宅	14人	のべ登録234人	68,513
障がい関連	ぷらちなくらぶ ・総合支援 ・相談支援	24時間毎日	利用者宅及び介助先	29人	足立区内利用者 のべ971人	92,614
	ぷらちな児童デイ ・放課後等デイサービス事業	平日11:00~19:00 長期休暇時季 8:00~19:00 (送迎時間含)	ぷらちな事務所1F,2F	15人	足立区内外利用者 のべ3445人	28,629

子育て 関連	子ども預り送迎支援事業・ 一時保育	6:00-22:00	利用者宅 サポーター宅	コーディネーター4人 サポーター のべ1,507人	足立区内 利用者のべ 9002人	51,450
	ハートアイランド新田 ・幼稚園送迎ステーション事業 ・地域人材連携サロン事業	送迎ST 平日7:30-9:30 16:00-19:00	新田キッズ ルーム (新田3)	6人	登録児童 229人	9,909
		子育てサロン 平日・土曜日 10:00-16:00			足立区内 利用者のべ 1,961人	
	ちびっこガーデン (子育てサロン西新井) ・子育てサロン事業 ・一時預り事業	子育てサロン 9:00-18:00 (閉館日除)	ちびっこ ガーデン (栗原1)	13人	足立区内外 利用者のべ 12903人	8,580
		一時預り 10:00-16:00 (平日のみ)			足立区内 利用者のべ 722人	
	ポンテポルタ千住大橋 (子育てサロン千住大橋) ・子育てサロン事業	子育てサロン 10:00-18:00 (閉館日除)	ポンテポルタ (千住橋戸町)	8人	足立区内外 利用者のべ 7785人	8,100
	集団保育事業	9:00-18:00	区内各保健 センター等	のべ 約100人	足立区内外 利用件数 のべ22件	490
	一時保育独自サービス	6:00-22:00	利用者宅等	のべ 約200人	足立区内外 利用件数 のべ189件	
サロン豆の木 ・ひとり親家庭支援事業	第2・第4土曜 (日曜・祝日の 場合あり) 14:00-16:00	区内 学習 センター等	のべ 約50人	足立区内 利用者のべ 182人	1,790	

3.事業の成果

(1)訪問介護事業/障がい者総合支援事業

- ・コロナ禍で感染対策の備品・備蓄に関してマスク・アルコール・フェイスガード・ディスプレイの備蓄ができた。
- ・職員全員のPCR検査・抗原検査を定期的実施して利用者や職員の安全と安心に努めた。
- ・リモート会議やZOOMを活用しながら研修会・定例会を開催する事ができた。
- ・事業所加算Ⅱをとるために必要な職員全員の健康診断・目標管理・育成計画は一部実施。できていない部分については令和4年度に実行できる様にする。

(2)小規模多機能型居宅介護「スマイルぷらちな」

- ・地域包括支援センター・近隣施設長の方々を訪問し事業部の方針等を話し、関係性の構築に努めた。また、各職員が地域の高齢者見守りを強化し、地域包括支援センターにつなげることで「絆のあんしんネットワーク」への加入を勧めていただき、新しい人脈を得ることができた。
- ・9月に入社したミャンマー人職員に対しOJTと並行し実践者研修に参加させることでスキルアップをはかり期待以上の成長を遂げた。
- ・育成にあたるスタッフについても自身の技術を見直し、再確認することで事業所全体の技術向上があった。

(3)児童デイサービス

- ・長引くコロナ感染の影響を大きく受けたが、衛生管理を見直し強化して感染防止に真剣に取り組んだ。
- ・業務体制の再構築に進捗が見られ、日々の業務改善や利用児童家庭への対応等コミュニケーションにおいて保護者との関係性が大幅に向上した。
- ・職員の資格取得、講習受講等職員のスキルアップにつながる機会を設け、知識や技能の向上に役立てることができた。
- ・2号店開設の準備を進めたものの、こちらの計画や検討条件に見合う「物件」探し等の進捗が思い通りに進められなかった。

(4)子ども預かり送迎支援事業

- ・前年度比はおおよそ100%~120%の件数で推移。
- ・新規CDの育成に至らず、従来の2名体制となる。
- ・定例会にトレーニングを導入したり、事前に内容を告知することで参加率アップを図った。
- ・連絡メールが受信できないSPも多いので、別の連絡ツールも要検討。
- ・CDの働きかけにより、報連相の徹底や「ヒヤリハット」の提出などSPの意識改善を改めて促した。

(5)ハートアイランド新田サロン

- ・「幼稚園送迎ステーション」「預かり送迎支援事業(新田地域)」の拠点としても活動。
- ・幼稚園がコロナの影響で急な休園になった際も、日頃から園や保護者とのコミュニケーションが取れていたため、大きな混乱もなくスムーズに対応ができた。
- ・季節のイベントを積極的に行った。
- ・新規CD候補を育成し、3月より活動を開始できた。
- ・ブログなどの広報活動を積極的に行った。

(6)西新井サロン(ちびっこガーデン)

- ・指定管理業者の担当者ともうまく連携が取れるようになり、昨年よりも運営がしやすくなった。
- ・指定管理業者と協力しイベントを強化。来年度はさらに充実した内容になるよう計画している。
- ・一時預り事業は好調を維持。保育士の確保が今後の課題となる。
- ・ブログなどの広報活動を積極的に行った。

(7)ポンテポルタ千住大橋サロン

- ・急なスタッフ不足により、ヘルプでの運営が余儀なくされる。その後、新たなメンバーの加入により安定したシフト作成ができるようになった。
- ・事業部の他事業実績等により、新しい取り組みとして「保護者向けイベント」の委託を受ける。
- ・ブログなどの広報活動を積極的に行った。
- ・講師によるイベントを企画、実施。

(8)「地域保健センター/男女参画プラザ等集団保育事業・一時保育独自サービス」

- ・「集団保育」については、昨年同様コロナの影響で実施がほとんどなかった。
- ・「一時保育独自サービス」については、習い事等の安定した利用があり、区外への送迎など依頼も増えている。

(9)サロン豆の木

- ・コロナの子どもへの感染拡大に伴い、昨年よりもイベントの中止回数が多くなった。そのため、配信やライブ(Zoom)でのイベント開催に挑戦した。
- ・「新たな体験機会」をテーマにイベントを企画し、父子家庭や新規参加者の獲得に繋がった。

II.組織運営関係全般

- ・昨年に引き続き、子育て事業部の職員が児童デイへ、また、児童デイ職員が「サロン豆の木」への応援勤務など事業部間におけるワークシェアリングを行った。
- ・雇用調整助成金など新型コロナウイルス感染症関連の支援策をスピーディに利用しコロナ禍のリスクに対応した。
- ・ワークライフバランス認定を利用した外部講師による研修、Eラーニングによる研修等で「ハラスメント対策」「労災防止対策」その他職員のスキル及びモチベーション向上のための研修を行った。
- ・社内研修や職員交流を「ZOOM」によるリモートで行った。
- ・新型コロナウイルスの感染症を警戒し定期的にPCR検査、抗原検査を実施した。
- ・緊急時に備え、紙媒体をデータ化するなど各事業部でリモートワークしやすい環境を整えると共にBCPの体制を構築することは達成出来なかった。

令和3年度 決算報告書

第 21 期

自 令和 3 年 4 月 1 日
至 令和 4 年 3 月 31 日

特定非営利活動法人 ふらちなくらぶ
理事長 小谷典史

令和3年度 特定非営利活動に係る事業会計収支計算書

令和3年4月1日から令和4年3月31日まで

特定非営利活動法人 ぷらちなくらぶ

(単位:円)

科 目	金 額	
(資金収支の部)		
I. 経常収入の部		
1. 会費・入会金収入		110,000
正会員会費	110,000	
2. 事業収入		277,470,822
介護事業収入	7,403,728	
支援事業収入	92,605,495	
豆の木事業収入	1,790,393	
スマイル事業収入	68,512,968	
子育て事業収入	51,450,340	
新田事業収入	9,908,822	
ちびっこ事業収入	8,580,000	
児童デイ事業収入	28,629,240	
千住大橋事業収入	8,100,000	
独自事業収入	489,836	
3. 助成金・寄付金収入		0
経常収入合計		277,580,822
II. 経常収出の部		
1. 事業費支出		231,877,681
介護事業	11,895,499	
支援事業	71,257,565	
ケアマネ事業	0	
スマイル事業	56,314,409	
子育て事業	43,138,870	
新田事業	7,908,425	
ちびっこ事業	7,033,364	
児童デイ事業	25,256,589	
千住大橋事業	8,484,898	
サロン豆の木	268,230	
独自事業	319,832	
2. 管理費支出		45,295,351
給料手当	15,409,835	
賞 与	1,186,000	
退職金	380,000	
法定福利費	6,007,553	
福利厚生費	1,126,093	
採用教育費	548,350	
外注費	729,225	
荷造運賃	8,390	

広告宣伝費	6,804		
会議費	2,865		
旅費交通費	610,644		
通信運搬費	2,389,973		
消耗什器備品費	839,936		
事務用品費	275,247		
修繕費	47,513		
水道光熱費	506,594		
諸会費	8,000		
支払手数料	598,284		
地代家賃	813,767		
リース料	576,550		
保険料	1,239,495		
租税公課	879,310		
支払報酬料	2,445,600		
支払消費税	5,401,600		
減価償却費	3,177,078		
貸倒繰入額(販)	0		
雑費	80,645		
経常収出合計			277,173,032
経常収支差額			407,790
経常外収益			3,785,213
受取利息	583		
雑収入	3,744,598		
貸倒引当金戻入額	40,032		
経常外費用			1,001,052
支払利息	1,001,052		
固定資産除却損	0		
和解金	0		
当期収支差額			3,191,951
法人税等	542,985		
当期正味財産増減額			2,648,966
前期繰越資金有高			104,847,557
次期繰越収支差額			107,496,523

令和3年度 特定非営利活動に係る事業会計

貸借対照表

令和4年3月31日現在

特定非営利活動法人 ぶらちなくらぶ

(単位 : 円)

科 目	金 額	科 目	金 額
資産の部		負債の部	
流動資産		流動負債	
現金	896,457	未払費用	19,769,584
当座預金	596,172	未払法人税等	542,900
普通預金	54,645,728	未払消費税等	1,526,800
未収入金	35,317,558	預り金	644,363
貸倒引当金	-211,905	一年内返済長期借入金	10,080,000
貯蔵品	154,000		
前渡金	240,000	流動負債合計	32,563,647
前払費用	142,582	固定負債	
預け金	45,410	長期借入金	68,988,000
立替金	0	役員借入金	237,884
流動資産合計	91,826,002	負債合計	101,789,531
固定資産		正味財産の部	
(有形固定資産)		前期繰越正味財産	104,847,557
建物	29,201,429	当期正味財産増加額	2,648,966
建物付属設備	2,836,030		
構築物	2,930,312		
車輛運搬具	2,730,243		
土地	77,829,403		
(無形固定資産)			
ソフトウェア	0		
敷金	0		
保証金	1,443,000		
出資金	11,000		
(投資等)			
繰延資産	478,635		
固定資産、繰延資産合計	117,460,052	正味財産合計	107,496,523
資産合計	209,286,054	負債及び正味財産合計	209,286,054

計算書類の注記

自 令和3年4月1日
至 令和4年3月31日

1 重要な会計方針に係る事項に関する注記

固定資産の減価償却の方法

有形固定資産	定額法	定率法
無形固定資産	定額法	

税法上の繰延資産の処理方法

有効期間にわたり均等償却しております

引当金の計上基準

貸倒引当金 債権の貸倒の損失に備えるため、一般債権について法人税法の規定による法定繰入率により、回収不能見込額を計上しております

リース取引の処理方法

リース物件の所有権が借主に移転すると認められるもの以外のファイナンス・リース取引については、通常の賃貸借取引に係る方法に準じた会計処理によっております

消費税等の会計処理方法

税込方式によっております

2 貸借対照表に関する注記

有形固定資産の減価償却累計額 45,942,217円

3 固定資産の増減内訳

科目	期首取得価額	取得	減少	期末取得価額	減価償却累計額	期末帳簿価額
建物	43,314,842	0	1,472,704	41,842,138	14,113,413	29,201,429
建物付属設備	17,878,900	0	706,424	17,172,476	15,042,870	2,836,030
構築物	13,507,139	0	444,984	13,062,155	10,576,827	2,930,312
車両運搬具	8,269,450	1,870,900	1,286,429	8,853,921	5,539,207	2,730,243
土地	77,829,403	0	0	77,829,403	0	77,829,403
ソフトウェア	669,900	0	1	669,899	669,900	0
繰延資産	1,231,816	0	139,321	1,092,495	753,181	478,635
合計	162,701,450	1,870,900	4,049,863	160,522,487	46,695,398	116,006,052

4 借入金の増減内訳

科目	期首残高	当期借入	当期返済	期末残高
短期借入金	13,920,000	10,080,000	13,920,000	10,080,000
長期借入金	75,228,000	13,920,000	20,160,000	68,988,000
役員借入金	238,076	300,000	300,192	237,884

令和3年度 特定非営利活動に係る事業会計 財産目録

令和4年3月31日 現在

特定非営利活動法人 ぷらちなくらぶ

(単位：円)

科 目	摘 要	金 額	
I 流動資産			
現金	現金手許有高	896,457	
当座預金		596,172	
普通預金	みずほ銀行/綾瀬支店	48,837,117	
	みずほ銀行/綾瀬支店	770,306	
	城北信用金庫	79,984	
	谷中郵便局	3,328,780	
	PayPay銀行	1,629,541	56,138,357
預 け 金	リサイクル預託金	45,410	
未収入金	東京都国民保険連合会 足立区(委託料他)他	25,515,148 4,533,436	
	家庭支援センター足立 利用者負担分	3,324,370 1,944,604	35,362,968
貸倒引当金			-211,905
貯蔵品		154,000	
前渡金		240,000	
前払費用		142,582	
立替金		0	536,582
流動資産 合計			91,826,002
II 固定資産			
(有形固定資産)			
建物	足立区加平1-8-23 232.47㎡	29,201,429	
建物付属設備	スマイル内装工事 電気・給排水・空調・ガス設備 昇降機 本部空調設備		
	本部3Fサンルーム	2,836,030	
構築物	スマイル造作工事、看板 前面歩道改修		
		2,930,312	
車両運搬具	軽自動車1台、ステップワゴン1台 ヴォクシー1台、キャラバン1台		
		2,730,243	
土地	足立区加平1-8-33 157.18㎡ 足立区加平1-8-46 71.05㎡		
		77,829,403	115,527,417
有形固定資産 計			115,527,417

第2号議案

(無形固定資産)				
ソフトウェア	ワイズマンIDC ジャニス自立支援ソフト	0	0	
無形固定資産 計				0
(投資その他の資産)				
保証金		1,443,000		
敷金		0		
出資金		11,000	1,454,000	
投資その他の資産 計				1,454,000
固定資産 合計				116,981,417
III 繰延資産	公共施設負担金 (水道管工事)		478,635	
III 繰延資産				478,635
資産の部 合計				209,286,054
II 流動負債				
未払法人税等	当期確定申告分	542,900		
未払消費税等	当期確定申告分	1,526,800		
未払費用	3月分給与等	19,769,584		
預り金	源泉所得税、住民税	644,363		
一年以内長期借入金		10,080,000	32,563,647	
流動負債 合計				32,563,647
III 固定負債				
長期借入金	日本政策金融公庫	68,718,000		
	みずほ銀行	270,000		
役員借入金		237,884	69,225,884	
固定負債 合計				69,225,884
負債の部 合計				101,789,531
III 正味財産の部				
前期繰越正味財産			104,847,557	
当期正味財産増加額			2,648,966	
正味財産合計				107,496,523
負債及び正味財産合計				209,286,054

令和3年度(2021年度)決算報告書

貸借対照表

令和4年3月31日 現在

I 流動資産	91,826,002	I 流動負債	32,563,647
II 固定資産	116,981,417	II 固定負債	69,225,884
III 繰延資産	478,635	III 正味財産	107,496,523
合計	209,286,054	合計	209,286,054

活動計算書

自：令和3年4月1日

至：令和4年3月31日

(特定非営利活動損益の部)			
第1項 特定非営利活動法人	277,580,822	第1項 事業費	231,877,681
		第2項 管理費	45,295,351
(特定非営利活動外損益の部)			
第1項 受取利息・雑収入他	3,785,213	第1項 支払利息・雑損失他	1,001,052
		第2項 法人税等	542,985
(繰越利益の部)			
前期繰越利益	104,847,557	次期繰越利益 (当期利益)	107,496,523 (2,648,966)

令和3年度年間役員名簿

（前事業年度において役員であったことがある全員の氏名及び住所又は居所並びにこれらの者についての前事業年度における報酬の有無を記載した名簿）

特定非営利活動法人 ぶらちなくらぶ

1 確認事項（法第20条及び第21条を確認の上、チェックを入れてください。）

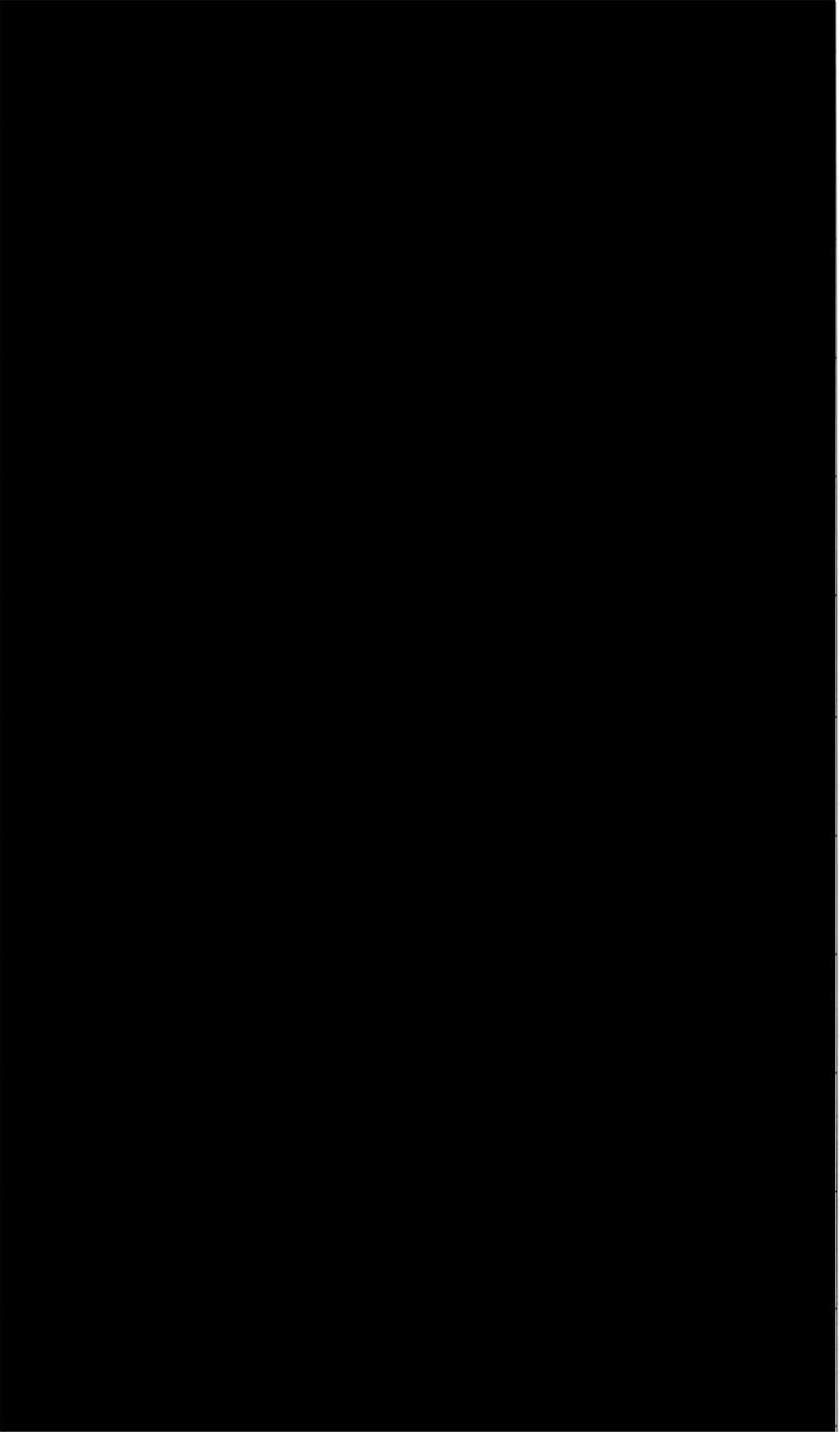
- 以下の役員には、欠格事由者が含まれません。（法第20条関係）
 各役員について、親族の規定に違反していません。（法第21条関係）

2 役員一覧

	役名 どちらかに○	(フリガナ)		前事業年度内の 就任期間	報酬を受けた期間 (該当者のみに記入)
		氏名			
1	○理事・監事	コタニ リフミ		令和3年4月1日 ～ 令和4年3月31日	なし
		小谷 典史			
2	○理事・監事	コヤナギ ナツエ		令和3年4月1日 ～ 令和4年3月31日	なし
		小柳 夏江			
3	○理事・監事	モリカ タカキ		令和3年4月1日 ～ 令和4年3月31日	なし
		森岡 孝之			
4	○理事・監事	エンドウ ヒロ		令和3年4月1日 ～ 令和4年3月31日	なし
		遠藤 千尋			
5	○理事・監事	コイケ ケイコ		令和3年4月1日 ～ 令和4年3月31日	なし
		小池 桂子			
6	○理事・監事	ナカノ カズキ		令和3年4月1日 ～ 令和4年3月31日	なし
		中野 和行			
7	○理事・監事	クシダ チノ		令和3年4月1日 ～ 令和4年3月31日	なし
		櫛田 千野			
8	理事・○監事	ホンダ ナガトシ		令和3年4月1日 ～ 令和4年3月31日	なし
		本郷 長利			
9	理事・監事			年 月 日 ～ 年 月 日	年 月 日 ～ 年 月 日
10	理事・監事			年 月 日 ～ 年 月 日	年 月 日 ～ 年 月 日

社員名簿（社員のうち10人以上の者の名簿）

特定非営利活動法人 ぷらちなくらぶ

	氏名	
1	小谷 典史	
2	森岡 孝之	
3	森角 美晴	
4	櫛田 千野	
5	遠藤 千尋	
6	小柳 夏江	
7	小池 桂子	
8	山口 一哉	
9	尾崎 律子	
10	河地 伸浩	
11	小宮 明子	
12		